



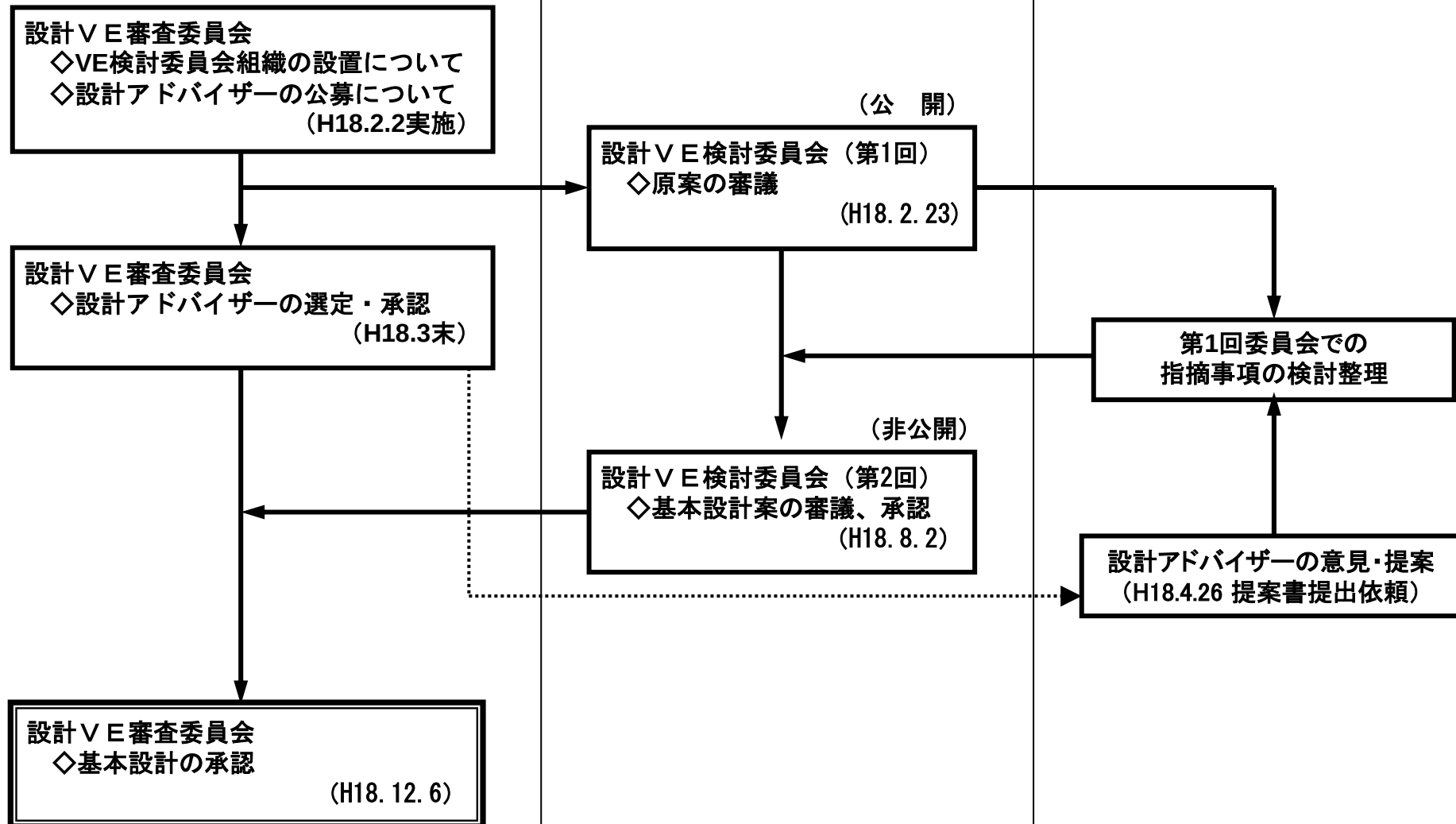
設計VE検討経過

中部地方整備局

設計VE審査委員会

設計VE検討委員会

事務局



設計VE検討委員会 検討委員

		氏 名	所 属	専門分野
専 門 家	学識経験者	鈴木 徳行	名城大学 名誉教授	ダム、河川、施工
		角 哲也	京都大学大学院経営管理研究部 助教授	ダム堆砂対策及び総合土砂管理
		檜谷 治	鳥取大学工学部土木工学科 教授	河川工学
	土木研究所	柏井 条介	独立行政法人土木研究所企画部 研究企画監 ※1	ダム水理
		山元 弘	独立行政法人土木研究所技術推進本部 主席研究員	施工・制御技術・ダム管理用設備
	港湾空港研究所	加藤 英夫	社団法人日本作業船協会 審議役 ※2	施工・制御技術・浚渫
	中部地方整備局	高橋 洋一	国土交通省中部地方整備局 河川部 広域水管理官	
		野村 修司	国土交通省中部地方整備局 河川部 河川工事課長	
		山口 武志	国土交通省中部地方整備局 企画部 施工企画課長	
		尾中 宗久	国土交通省中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所長	
		安田 佳哉	国土交通省中部地方整備局 中部技術事務所長	

※1：元 独立行政法人土木研究所 水工研究グループ 河川・ダム水理チーム 上席研究員

※2：元 独立行政法人港湾空港技術研究所 施工・制御技術部 新技術研究官



設計VE検討委員会 設計アドバイザー

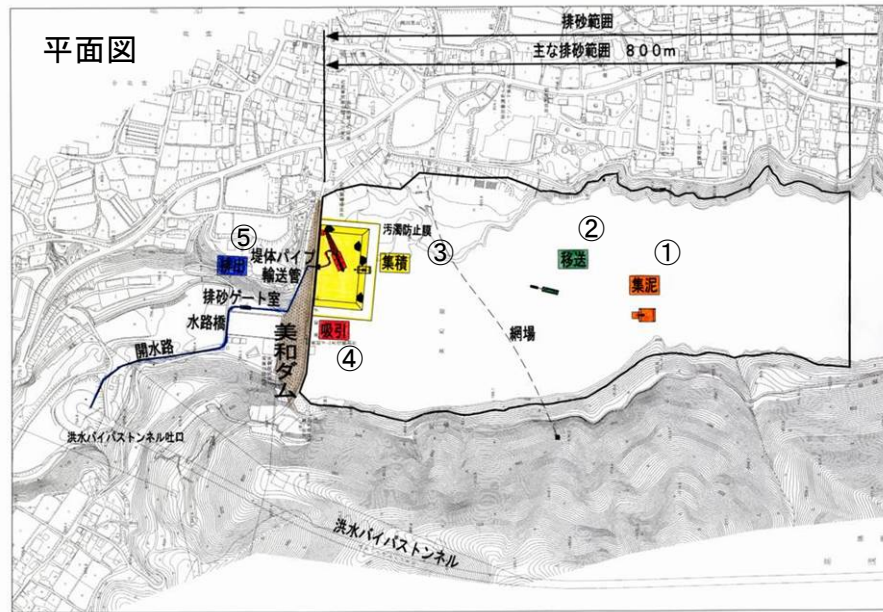
氏 名	専門分野
植 木 光 夫（うえき みつお）	浚渫
渋谷 より州（しぶや よりくに）	水位差吸引工法
野 池 悦 雄（のいけ えつお）	全般
橋 本 徹（はしもと とおる）	水位差吸引工法
土生川 真 二（はぶかわ しんじ）	機械関係

広範に専門技術者の提案、アドバイスを得る仕組みを構築することを目的として、
「ダム堆積土排砂技術（海洋・内水も可）に関する設計・施工技術者及び有識者」を対象に、
「設計アドバイザー公募」を試行的に行った。

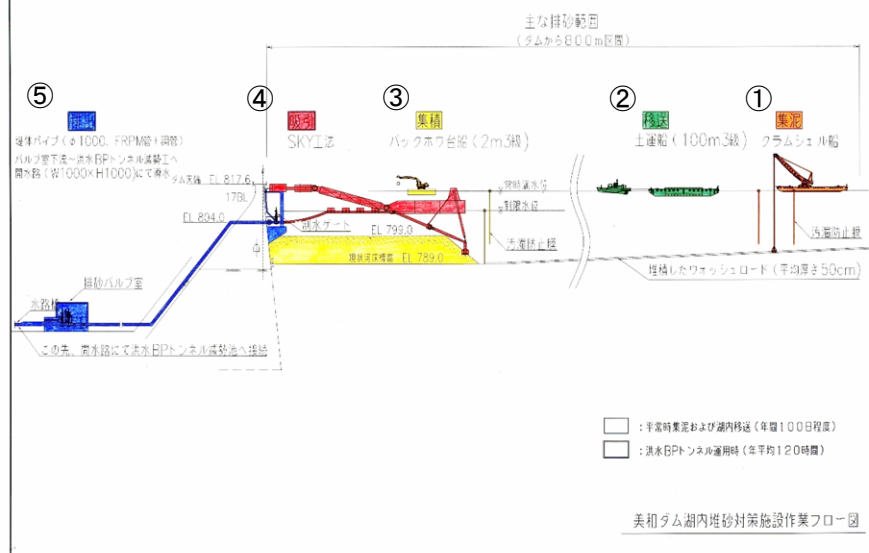
設計アドバイザーの役割

- ① 設計VEについて、専門技術者としてコスト縮減等に関する技術的な提案、アドバイスを行う。
- ② 設計VEについて、発注者からの問合せに対して、必要なアドバイスを行う。

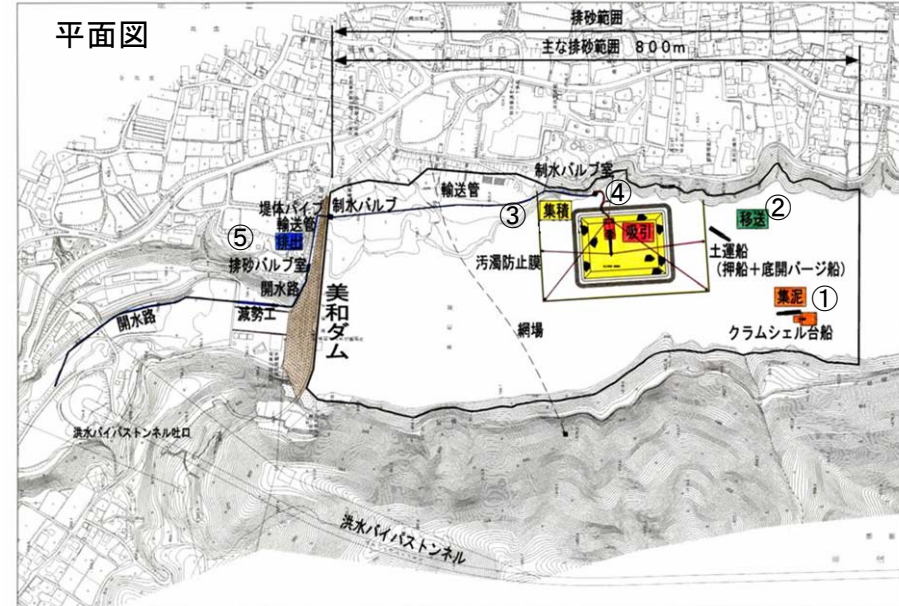
原 案



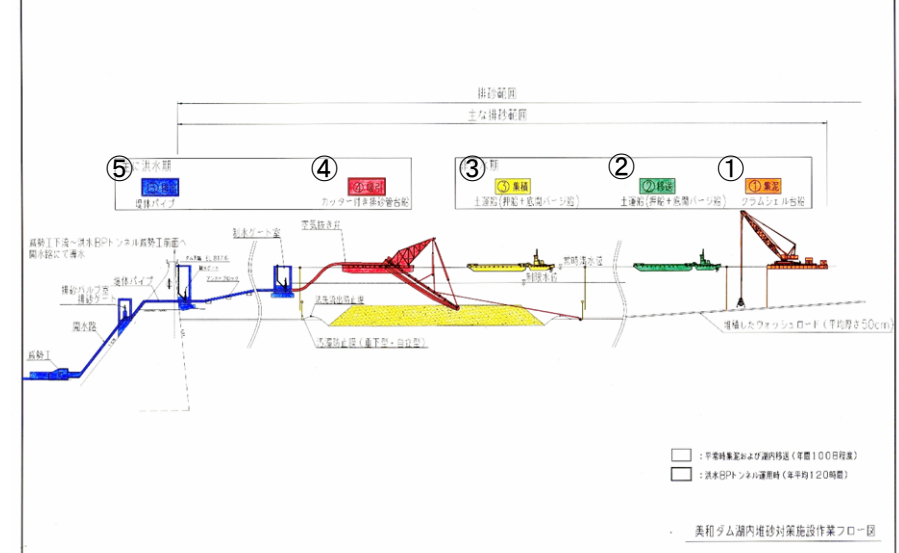
縦断面図



基本設計



縦断面図



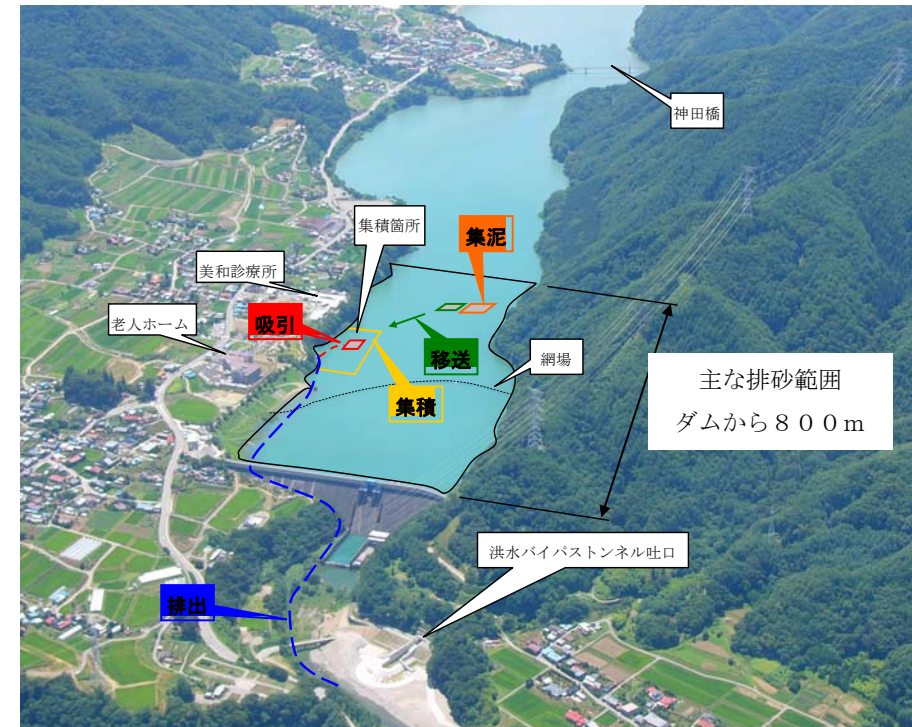
設計VE検討内容

移送・集積の合理化

集積場所の見直し

吸引方法の見直し

排出経路の見直し



	原 案	基本設計	実施 時期
① 集泥	クラムシェル台船	クラムシェル台船	非 洪水 期
② 移送	引船ーボックスバージ船	押船ー底開バージ船	
③ 集積	バックホウ台船		
	堤体右岸直上流	右岸上流	
④ 吸引	堤体に固定したヒンジ台船	ワイヤー＋ウィンチにより移動するワイヤー台船	洪 水 期
	S K Y工法	カッター付き排砂管工法	
⑤ 排出	堤体内を放流管で貫通し、洪水バイパストンネル吐口内に放流（ダム減勢工を水管橋で渡る）	堤体内を放流管で貫通し、洪水バイパストンネル前面付近に放流（下流は右岸側を開水路で送水）	